



今回の来日ツアー唯一共演者の無いカルテットだけの公演
メンバー変われど、歴史を背負って立つ名門の響きをどうぞ



ゲヴァントハウス弦楽四重奏団

Gewandhaus Quartett

ヴァイオリン: フランク＝ミヒャエル・エルベン
ヴァイオリン: チョ・ユンジョン
ヴィオラ: アントン・ジヴァエフ
チェロ: ユルンヤーコプ・ティム

Frank-Michael Erben, Violin I
Yun Jin Cho, Violin II
Anton Jivaev, Viola
Jürnjakob Timm, Cello

世界最古と言われているゲヴァントハウス弦楽四重奏団は、1809年にゲヴァントハウス管弦楽団の3人の音楽家によって誕生。以来、同楽団の首席奏者を中心に、今日にいたるまで途切れることなく音楽活動を続けている。

19世紀のメンバーにはメンデルスゾーンにヴァイオリン協奏曲を献呈されたF.ダヴィッド、ブラームスのヴァイオリン協奏曲の初演を行なったJ.ヨアヒム等がいる。今までにメンデルスゾーン、シューマン、ブルッフ、ドヴォルザーク、レーガーを含む100以上の作品の初演を行っており、西洋音楽とともに歩んできた弦楽四重奏団である。

2018年には、結成以来初となる女性奏者チョ・ユンジョンがメンバーとなり、また、長年このカルテットのチェロ奏者であったユルンヤーコプ・ティムが復帰。すでに数度の定期演奏会を重ね、伝統を引き継ぎつつ新しい世界を繰り広げている。

結成以来共演を行なった著名演奏家の中にはクララ・シューマン、ブラームス、プーニ、グリーグ、ニキシュ、ケンプ、ルービンシュタインなどの名前もある。近年ではヨーヨー・マ、ザビーネ・マイヤーなどと共演を行なっている。世界各地での演奏に加え、今上天皇や英国のチャールズ皇太子の前でも非公開で演奏を披露しているほか、ドイツのローマン・ヘルツォーク大統領が1999年3月にアルゼンチンを公式訪問した折に同行。NHKによる収録も行なわれている。

CD録音にも積極的に取り組み、特にベートーヴェンの後期の四重奏曲のCDについて「模範的かつひとつの基準ともなり得る解釈を持ち、卓越した音の美しさで聴く者を魅了する」「この録音は、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団が世界で最も優れた四重奏団のひとつであるという名声を再確認するものである」（いずれもKlassik heute誌）と絶賛されている。

宗次ホールの情報はこちら！

当日券情報 などつぶやいています！

twitter



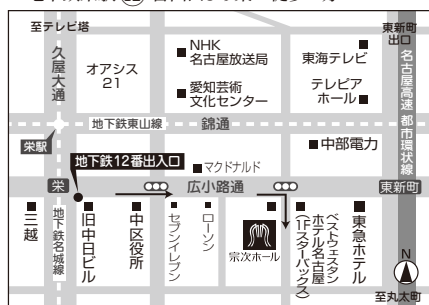
<https://twitter.com/munetsuguhall>



他にも各SNSにて情報発信中！

フォロー
お待ちして
あります

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業